

新刊行物分譲廣告

學振 19 小委 第 2 號

鋼材鍛鍊作業ノ稱呼及ビ鍛造比表示方式 三枚壹部 代價實費 金 三 錢 送 料 金 三 錢

本會が昨年来 學振 19 小委 第 1 號 鐵及ビ鋼窒素分析方法 を日本學術振興會の依頼を受け一般へ頒布して居りますが 此度上標題が新たに出来ましたので之れも頒布することになりました 此方式決定に付ては本年十月日本鐵鋼協會第 18 回講演大會に於て日本學術振興會 19 小委員會委員長依博士の「學振 19 小委員會の鋼材鍛鍊作業の稱呼及び鍛造比表示方式に就て」(鐵と鋼第 23 年第 11 號及び日本學術振興會 19 小委員會報告参照)の御講演がありました其大要を次に掲げますから御熟覽の上奮つて御利用あらんことを希望致します

學振小委員會の鍛鍊作業の稱呼及び鍛造比表示方式に就て

(昭和十二年十月札幌市に於て日本鐵鋼協會第 18 回講演大會講演大要)

日本學術振興會第 19 小委員會委員長 工學博士 依 國 一
東京帝國大學名譽教授

日本學術振興會第 19 小委員會(特殊鋼材)は特殊鋼材に起る缺點の原因調査又は之が防止方法を研究するを目的とする 此目的に對し鋼材の加熱冷却及び鍛鍊作業を十分に注意せねばならぬ 小委員會に於ては先づ鍛鍊作業の調査を試みたるに本邦内各工場に於て現に使用せらるゝ各種作業の名稱又は比率の表し方が區々である そこで種々調査し研究した上現用せられたものの内比較的多数の準據せるものを採用して一つの表示法を制定した茲に之を發表して一般の工場が之に據られんことを希望する次第である

學振 19 小委 第 1 號

鐵及ビ鋼窒素分析方法 五枚一部 代價(實費)金五錢 送 料 金三錢

學振 19 小委員會の鐵及び 窒素分析方法に就て (鐵と鋼第 22 年第 11 號参照)

(昭和十一年十月福岡市に於ける日本鐵鋼協會第十六回講演大會講演大要)

日本學術振興會第 19 小委員會委員長 工學博士 依 國 一
東京帝國大學名譽教授

日本學術振興會學術部に於て特殊鋼材の製造に關する 19 小委員會の設立せられた 本小委員會は特殊鋼材中に生ずる各種缺點に依て起る原因を研究し 之が防止策を講ずる目的を以て陸海軍民間の主なる製鋼所の技術者 又は大學教授 其の他専門家より選ばれた人々に依つて成立して居る 然るに特殊鋼の製造處理に關しては先づ正確なる温度を知ること、他に鐵鋼中のガス成分を確むることが必要である 夫れ故に夫々の分科が設けられて居る 高温計の方は他日に譲り ガス分析に關し其の内の窒素分析法に就て成案を得たから夫れを茲に報告する

鐵鋼中のガス分析方法は頗る困難なることにして容易に施行出来なかつたが 歐米に於て近來著しく之に關し研究して居るし又本邦に於ても所々に之を實施するの機運になった 熔鋼作業に對しては酸素の定量など最も適切に知る必要あるものであるが 仲々困難を伴ふものであるから 最初に窒素分析法に手を染めたものである

窒素分析法は主として蒸溜法を採用し既に八幡製鐵所の田澤氏 京都の大川氏 理研の佐藤氏などが研究し發表せられて居る 現に各所に於て夫々此等の方法に準據して作業して居る 小委員會第 1 (分析方法) 研究會に於ては各所に於て實施せられて居る方法及び之が装置を参照して 新なる分析装置を造り 分析方法の手順をも一定したのである 之に依つて再三 同一試料を各個所に送つて定量を依頼したら 可なり一致せる結果を得た爲め 本年 6 月 最後の決定案を得て 相互に將來此の同一方法及び装置にて分析しやうと云ふ約束をしたのである 著者は小委員會の委員長として終始委員會の議に預かつたから 以上の成り行を茲に報ずるものである 同時に斯界に於て廣く此方法に據られんことを希望する次第である